

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・環境Ⅱ	演習	1	阪上 節子
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 1. 子どもの遊びを通じた「環境」についての理解を深める。 2. 環境に関する科学的・哲学的視点の基礎理解を培う。			
<b>【授業の概要】</b> 保育内容「環境1」を踏まえ、子どもを取り巻く多様化する環境の中において、保育者は環境に対する総合的かつ高度な知識と視野が要求される。したがって、子どもを取り巻く環境をさまざまな面から捉え、保育者として必要な資質や保育技術を習得し理論と実践の総合を図る。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス			
2. 自然や暮らしとの環境			
3. 季節の草花を使った遊びと環境			
4. 生き物を飼育しての環境			
5. 身近な自然環境と社会環境			
6. 植物を育てる環境			
7. 遊びの中で「ごっこ遊び」に親しむ環境			
8. 地球にやさしい環境活動			
9. 不思議、おもしろい科学遊びのある環境			
10. 道具を使つての環境			
11. 伝統や文化にふれる環境			
12. 造形遊びの環境			
13. 数量・図形遊びの環境			
14. 文字・記号遊びの環境			
15. 授業のまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方：事前に教科書を読み理解しておく。			
学習のあり方：アクティブ・ラーニングやワークをします。			
復習のあり方：課題をだします。全て課題の提出は次週の火曜日です。その後については受付しません。			
<b>【成績評価】</b>			
授業態度、30% 提出物、70%			
<b>【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】</b>			
レポートや提出物にはコメントを記入して返却する。			
<b>【テキスト】</b>			
小澤 力編著 体験・実践・事例に基づく『保育内容「環境」』—身近な自然・社会とのかかわり— 保育出版社 2018年			
<b>【参考文献】</b>			
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書、幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説書			